

レファレンス・サービスとは、情報を求めて来られた利用者に対して、図書館の資料等を活用して、必要としている資料の提供や検索方法の紹介など、情報を探すお手伝いをするサービスのことです。法律相談や健康相談、物品鑑定、論文作成、クイズの解答などといったお答えできない質問もあります。また、質問によっては、日数がかかるもの、資料や情報が提供できないもの、あるいは見当たらない場合もありますのでご了承ください。

○レファレンス受付件数（2008年9月分）

参 考	人 文	社 会	自 然	郷 土	国 際	国 連	こども	ポピュラー	合 計
141	2,249	646	580	972	604	272	521	1,205	7,190

（開館日数23日 一日平均312件）



こんな質問がありました

人文Q. 三宝荒神について知りたい。

- A. **辞典**⇒『**民間信仰辞典**』「三宝荒神とは如来荒神、鹿乱荒神、忿怒荒神の三神であると『**无障碍経**』に説かれているというが、これは偽経であり本来の仏教とは無縁のものであって、三宝荒神の普及には地神盲僧の関与が考えられる」とある。『**岩波仏教辞典**（第2版）』「民家の代表的な屋内神で、火の神、竈神として祀られる」とあり。『**日本民俗宗教辞典**』荒神信仰、荒神祓いについて項目あり。 **民俗関係**⇒『**荒神信仰と地神盲僧**』長崎県平戸市と山口県萩市における荒神信仰についての記述もあり。『**民間信仰**』（塙書房）屋敷祭と荒神祓いについて書かれている。『**民俗信仰の神々**』竈神の性格、竈神の由来として伝わる昔話の紹介や竈神祭祀の伝承について記述あり。

人文Q. シーガルの彫刻の特色や手法について知りたい。

- A. **美術事典**⇒『**世界芸術家辞典**』シーガルについて説明あり。「人間から石膏で直接型を取り、それを作品化するという独自の手法を編み出し」とある。 **ジョージ・シーガル関連**⇒『**ジョージ・シーガル展**』「日常的な現実の一瞬を、周辺を含めた環境ごと切りとって静止させ、現代社会のただなかにある人間の姿を人体から直接型どりした石膏像に置きかえて、見る者の心に強く焼きつけるような作品をつくりあげました」とあり。巻末に「白い藤椅子の女」の制作過程が白黒写真で紹介。『**ジョージ・シーガル**』シーガルの特徴でもある型抜き彫刻や着色彫刻について詳しい記述。見返しに人間を使つての型抜きの方法がカラーで紹介されている。 **雑誌**⇒『**美術手帖** 1982年7月号』『**同** 1990年2月号』『**季刊みづゑ** 1991年3月号』『**芸術新潮** 1982年7月号』『**同** 1991年3月号』シーガルについての記事あり。

人文Q. 唱歌「仰げば尊し」の歌詞中に中国の漢詩と関連がある部分があるらしいが、どこか？

- A. **音楽関連**⇒『**唱歌・童謡ものがたり**』歌ができるまでのエピソードあり。二番の歌詞が中国の古典「**孝経**」を引き「身を立て、名をあげ」に直した、との記述あり。『**三つの君が代**』歌詞の訂正の過程あり。二番の歌詞が「**孝経**」の中の“立身行道挙名後世”という漢詩が引用され、「身をたて、名をあげ」に変更されたとの話。 **「孝経」を調査**⇒『**孝経（中国古典新書）**』『**孝経新釈**』それぞれ“開宗明義章第一”に“立身行道挙名後世”の原文と解釈あり。

社会Q. 法隆寺の火災について、詳細を知りたい。

- A. **新聞**⇒朝日新聞データベース「**聞蔵Ⅱ**」を検索。昭和24年1月26日に火事。27日以降の新聞に関連記事が多く記載されている。『朝日新聞縮刷版 昭和24年1～4月』**雑誌記事**⇒「マガジンプラス」を検索。『Aera (アエラ) 1989年1月24日号』“法隆寺金堂炎上・1949年1月―はっきりしない出火原因朝日は電気座ぶとん説”など、いくつかの記事がヒット。**判例**⇒「判例大系」より裁判の情報を検索。地裁・高裁・最高裁の判決がヒット。火災の原因、法隆寺内の場所、火災が発見された時間など、当時の状況がわかる。**法隆寺関連**⇒『法隆寺・金堂炎上』法隆寺の火事について、事件とその裁判関連のルポルタージュ。

社会Q. 昭和19年頃に施行された商工組合法の資料がないか？

- A. **官報**⇒『官報目次総覧 第9巻(自昭和十五年至昭和二十年十二月)』昭和18年3月官報目録に53商工組合法とあり。マイクロフィルム版『官報』は明治16年～平成8年を所蔵。**中小企業関連**⇒『中小企業等協同組合法の解説』「商工組合法は、統制組合及び施設組合の根拠法であるが、当時工業組合、商業組合、同業組合等各種の組合制度があつて、いずれも戦時統制の国家機関的役割を果たしていた」とある。『商工政策史 第12巻』商工組合法制定にいたる沿革、法案要綱、商工組合制度の概要や組合組織の整備について記述あり。**中小企業金融関連**⇒『商工組合中央金庫二十年史』商工組合法の制定や商工組合機構の整備方針とその推移について解説あり。

社会Q. オリンピックの経済効果について知りたい。

- A. **経済・社会事情関連**⇒『21世紀の東アジア展望』シンポジウムの報告書。「東京オリンピック前後の経済・社会」「ソウルオリンピックの遺産」「北京オリンピックについて」「北京オリンピックと東アジア経済」を収録。**スポーツ関連**⇒『オリンピックのすべて』マーケティングなどの経済的側面や経済的・環境的インパクトなどについても記述あり。**雑誌・新聞**⇒『フォーラム福岡 2006年5月号』記事“オリンピックの経済学、地元へ1兆1753億円の経済効果をもたらす”『エコノミスト 2004年8月10・17日合併号』記事“アテネオリンピックの経済効果を試算する”『人民日報』2008年7月25日、8月25日付けの新聞にオリンピックの経済効果について記事あり。

社会Q. 焼きいも屋を開業するのに参考になる本がみたい。

- A. **飲食店関連**⇒『誰も教えてくれない屋台商売の始め方・儲け方』焼きいも屋の開業資金や開業ノウハウの実例を挙げ、基礎知識、仕入れ、利益率などを具体的に解説。『屋台商売の始め方・儲け方』屋台商売を始める例として焼きいも屋を挙げている。資金などの簡単な説明あり。**雑誌**⇒『現代農業 2006年11月号』特集“サツマイモ vs ジャガイモ”焼きイモを焼く道具など関連記事が掲載されている。

自然Q. 平均律が中国でどのように理解されていたか知りたい。

- A. **音楽関連**⇒『標準音楽辞典(新訂第2版)』「中国で明朝の朱載堉が1606年に十二平均律を発表し」と記載あり。『ゼロ・ビートの再発見』ピタゴラス音律について書かれている中に「中国の三分損益法とわが国の伝統音楽」あり。**科学関連**⇒『中国の科学と文明 第7巻 物理学』平均律の発展の中に「西洋音楽と中国数学」「朱載堉の高貴な贈物」というテーマで言及されている。

自然Q. プラズマテレビと液晶テレビの違いについて知りたい。

- A. **テレビ関連**⇒『これだけは知っておきたいデジタル家電のしくみとポイント』プラズマと液晶についての解説や比較表あり。他に参考になる本として『同 2』『よくわかる大画面の主演プラズマテレビ』**雑誌**⇒『特選街 2007年7月号』各メーカーの液晶テレビ、プラズマテレビの採点評価や良い点、悪い点の解説あり。『同 2007年4月号』機種選びのポイントや画面タイプ別のモデルあり。『同 2006年11月号』プラズマと液晶の動向について解説されている。